参議院選挙組織内候補
「本田あきこ」

神奈川県薬剤師連盟は令和５年３月 22 日の評議員会において、次期参議院選挙の組織内候補を本田あきこ参議院議員に決定しました。

本田あきこ氏は、令和元年７月の参議院選挙で 159,596 票を獲得し比例代表全国 14 位、自民党新人候補では１位、医師会候補を抜き見事に初当選を果たしました。

当選後は、厚生労働委員会等に所属し、令和４年８月より厚生労働大臣・内閣府政務官、令和５年 10 月からは文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官を務めています。

略　歴

昭和４６年９月生まれ　（熊本県出身）
平成８年３月星薬科大学卒業、平成 10 年卸勤務
平成 13 年薬局勤務　平成 14 年国会議員秘書
平成 19 年製薬会社勤務・卸（アルフレッサ）勤務
平成 25 年 10 月～28 年２月神奈川区慶成薬局勤務
平成 28 年熊本県薬剤師会・連盟副幹事長
平成 29 年日本薬剤師連盟副会長
令和元年７月２１日参議院議員選挙初当選
令和４年８月　厚生労働大臣政務官、内閣府大臣政務官
令和５年 10 月～現在　文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官

【薬剤師のために】

日本薬剤師会・連盟の要望を聞く窓口として議員会館にて要望書を頂き、省庁に確認を行い、必要な内容は党内勉強会で発言など、確実なフィードバックを続けています。

◎医科：歯科：調剤　１：１：0.3 の堅持

【厚生労働大臣政務官として】

2022 年 8 月に厚生労働大臣政務官を拝命した関係上、この間、国会質問する機会はなく、その代わり 各種委員会にて質問を受けて、政府側の立場で国会答弁することが多くありました。

〇衆議院・参議院併せて 57 回　答弁 参議院 29 件　衆議院 28 件

予算委員会分科会、法務委員会、文部科学委員会、決算行政監視委 員会、災害対策特別委員会、地域活性化・こども政策・デジタル社 会形成に関する特別委員会、消費者問題特別委員会　でも答弁

【これまで実現した政策】

健康と安全・安心のため、薬剤師や薬業関係者にとっての課題解決に取り組みました。

① 薬剤師の職能の拡充（薬剤師法改正）：薬学的管理（かかりつけ機能）を法律上明確化
② 認定薬局制度の創設（薬機法改正）　：地域連携薬局、専門医療機関連携薬局の認定制度
③ 薬局等への財政支援（新型コロナ対策）：薬局等に対する予算等　（薬剤交付支援事業、緊急包括支援交付金）
④ 緊急承認制度の創設（薬機法改正）：医薬品・医療機器等を国民に速やかに届けるための 新たな早期承認制度
⑤ 医療を取り巻く諸課題への取り組み：感染症有事等への備え（日本版 CDC 設立等）、 医薬品供給不足の複合的要因の解消